

# FUKUOKA IS OPEN BRAND GUIDELINE

---

更新日 2024年02月05日

本ガイドラインの一部または全部を発行者の事前承認なしに改変することを禁じます

## - 世界へ広がる福岡の「わ」 -

「奴国」と呼ばれた弥生時代（1世紀）から国際交流が行われており国際都市としての深い歴史を持ち、多様な人々・コミュニティ・地域・歴史・文化・暮らしなどの様々な「わ」が重なり合い、共存する福岡を5つの輪の重なりで表現しています。さらに、その「わ」が世界へ広がっていく様子を内側から外側へ向けて線幅をダイナミック広く変化させることで表現しています。

### ・5つの「わ」

県の花「梅」や特産品「あまおう（いちご）」（どちらもバラ科の植物）は5枚の花弁を持つ花を咲かすことから、5つの輪を組み合わせて花となり、このプロジェクトが花咲くことを表現しています。

### ・面の「わ」

面で構成された「わ」のデザインは、博多港から世界を駆け巡った遣唐使や遣隋使の帆船の推進力である「帆」をイメージしています。また、このデザインは博多織・久留米絣・小倉織など県内各地域に根付く織物を連想させます。



## ロゴマークのカラー規定

### ■ カラー

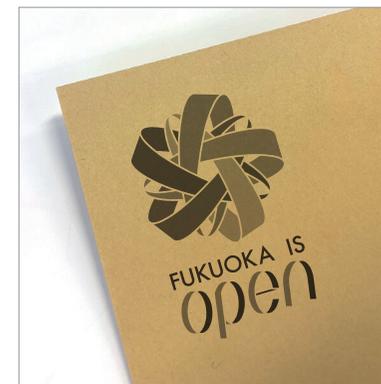


	CMYK	RGB	PANTONE
	C:80 M:0 Y:20 K:0	R:0 G:175 B:204	16-4535
	C:63 M:0 Y:91 K:0	R:99 G:183 B:67	15-6442
	C:2 M:90 Y:44 K:0	R:229 G:53 B:94	17-1842
	C:0 M:60 Y:100 K:0	R:240 G:131 B:0	15-1150
	C:0 M:20 Y:100 K:4	R:248 G:204 B:0	13-0751
	C:100 M:33 Y:11 K:0	R:0 G:126 B:188	18-4535
	C:32 M:93 Y:55 K:0	R:181 G:48 B:83	18-1741

### ■ グレースケール



	K:60	R:137 G:137 B:137
	K:80	R:89 G:87 B:87
	K:55	R:148 G:148 B:149
	K:75	R:102 G:100 B:100
	K:40	R:181 G:181 B:182
	K:90	R:62 G:58 B:57



グレースケールでの印刷の際は背景を白ではなく透明として背景色なしで使用可能です。

カラーのロゴマークを基本とし、印刷などの都合で制約が発生した場合にグレースケールを使用してください。  
グレースケールのロゴの場合、背景の白を透明とし、背景色なしで使用可能です。

・基本ロゴ A (縦組み)



・基本ロゴ B (横組み)



・シンボルマーク



・基本ロゴ C (横組み)



・ロゴタイプ



ロゴを使用する場合は、本ページの組み合わせ規定に従い使用して下さい。  
ロゴを表示する場合は、かならずオリジナルデータを使用して下さい。  
変形・加工、上記の組み合わせ以外での使用は禁止します。

・基本ロゴ A (縦組み)



・基本ロゴ B (横組み)



・シンボルマーク



・基本ロゴ C (横組み)

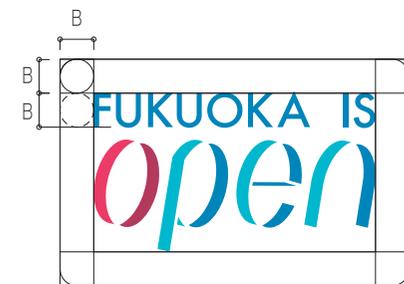
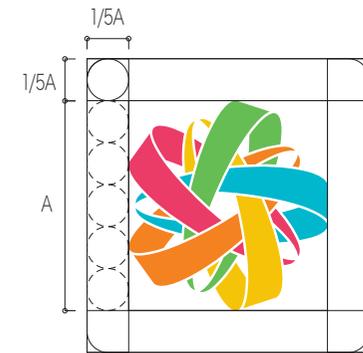


・ロゴタイプ



ロゴを使用する場合は、本ページの組み合わせ規定に従い使用して下さい。  
ロゴを表示する場合は、かならずオリジナルデータを使用して下さい。  
変形・加工、上記の組み合わせ以外での使用は禁止します。

カラーのロゴマークを基本とし、印刷などの都合で制約が発生した場合に上記のグレースケールを使用して下さい。



アイソレーションエリアは上記の通りの比率とする必要があります。



ロゴマークの背景は白 (K=0) または黒 (K=100) を基本色として設定しています。



M=20%  
計 20%



Y=20%  
計 20%



C=20%  
計 20%



K=20%  
計 20%



M=10%  
Y=10%  
計 20%



C=10%  
Y=10%  
計 20%



C=10%  
M=10%  
計 20%

ロゴマークの背景色は白または黒を基本色に設定していますが、多様な色で表現も可能です。  
背景の色彩は、上記の例を参考にロゴマークの視認性を保持する濃度（CMYKの合計が20%以下）で表現してください。



○ 良い例



✕ 悪い例

ロゴマークの背景に写真を適用する場合は写真の複雑な部分は避けて  
背景色と同様に視認性を保持する濃度（CMYKの合計が20%以下）を目安に調整し表現してください。



シンボルマーク、ロゴマークを小さなサイズで使用する場合  
印刷再現性等の限界からつぶれなどが生じ、ブランドイメージを損なう恐れがあります。  
こうした事態を避けるために最小使用サイズを規定しますので、逸脱のないよう留意してください。



縦横比率を変形してはならない



規定の色以外を使用してはならない



ロゴマークの組み合わせや  
サイズバランスを変更してはならない



アウトライン表現をしてはならない



トリミングをしてはならない



グラフィック上の加工処理をしてはならない



傾けてはならない



他の要素やマークを足してはいけない



写真や複雑な背景の上に  
配置してはならない



影をつけてはならない



枠など装飾で囲ってはならない  
\*アイソレーションエリア外、または  
アイソレーションエリアに沿った枠は可能です。



ロゴが一体化する背景色を使用してはならない

## ロゴマークの展開形

### ■ ロゴマークの展開形 (円形のデザイン)

3ページのロゴマークの基本セットに加え、本プロジェクトの魅力を伝えるための展開形をご用意しました。ステッカー等の制作の際に活用してください。  
通常の場合は基本セットを利用してください。



### ■ 余白 (アイソレーションエリア) の設定

アイソレーションエリア内は必ず白背景としてください。  
ロゴマークの背景が白以外の有色の場合は、アイソレーションエリアの円で白背景としてください。



## ロゴマークの展開形

### ■ ロゴマークの展開形 (カットアウト)

カットアウトのご使用に関しては  
記載のような写真の上に掲載することが  
やむを得ない場合のみに使用してください。  
ロゴの背景に関しては、原則は8ページの  
背景との関係を参考に運用してください。  
また、10ページの禁止事項に則り運用  
してください。



ロゴの使用例

■名刺 (55mm x 91mm)

